

学生を対象に勉強会と農と環境の学習機会を提供

「みどり戦略学生チャレンジ」に参加する学生を対象に**知る！交流する！**ための勉強会を開催。その後、フィールドワークを**体験する！**ことで環境負荷低減等の知識を深めてもらった。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

東京都拠点では大学連携に取り組んできたが、令和6年度は「みどり戦略学生チャレンジ」にエントリーをした学生等により深く農と環境の知識を得てもらうことを目的として勉強会及びフィールドワークを行った。

○ 取組の内容

- ・ 勉強会では、農政局みどり戦略担当がみどり戦略の生産から消費までの取組等について講義を行った後、局内の若手職員がファシリテーターとなって討論を行い発表。
- ・ 勉強会に参加した学生らは、後日、都内の生産現場において生産者を講師としたフィールドワークに参加。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・ 参加した学生からは「行政側の取組内容や様々な地域や機関の農業への努力のやり方がよくわかった。」といった好意的な意見が多く寄せられた。
- ・ 次年度はより多くの参加校を募り、みどり戦略のほか都市農業や食品アクセス等の課題をテーマに勉強会を開催するとともに、都内の農業を中心にフィールドワークを通じて、食と農及び環境への知識を更に深めてもらいたい。

8/6講義の後、局若手職員がファシリテーターとなってグループ討議



学生から“みどり戦略で出来る貢献とは？”をテーマに発表



左から8/24天神山須藤園（三鷹市/植木農家）、9/3高橋農園（世田谷区/野菜農家）、9/9山口トマト農場（練馬区/野菜農家）

